

<能力強化事業（訪問受け入れ）> 『「他国」ではなく「友人の国」として認識する』



ICAN 日本事務局
古谷 小夏
～プロフィール～
立命館アジア太平洋
大学卒業後、2019
年 10 月より現職。

11 月 2 日、アイキャン日本事務局では来日したフィリピンの高校生 9 名と日本の高校生 10 名の交流イベントを行いました。今回のイベントに参加したフィリピンの ICSB (Immaculate Conception School of Baliuag)、そして名古屋国際高校や聖霊中学高等学校は、アイキャンのフィリピンでの海外研修や国内での講演活動、日本事務局での街頭募金活動のボランティアを通じて関わりのある学校です。

イベントでは、アイキャンスタッフが路上の子どもの生活について話した後、世界の課題に対して自分たちが今できること・これから行動へ移すことを、それぞれの立場から意見を出し合い、「フィリピンの現状を伝えるため、日本語を勉強する」「世界のニュースに耳を傾ける」等のアイデアが出されました。

今回のイベントの目的は「世界で起きている問題を自分事として捉え、行動に移し、継続してもらうこと」です。それにはまず、自分ごととして、自らが取り組むべき課題であると捉えてもらう必要があります。実際は、自分の国や地域の課題であっても自らのものとして捉えることは難しく、例えば、フィリピンで暮らしていても普段から貧困や教育について深く考える機会があるとは限りません。そのため、イベントでは異なる背景・国籍の人と共通のテーマについて様々な意見を交わすことにより、世界の課題について深く考える機会を作り、異なる背景の中で、お互いに対し親近感をもってもらおうよう心がけました。せっかく良いアイデアを出し合っても、それを実行・継続するためのモチベーションを維持するのは難しいことです。お互いをより近い存在と認識することにより、この機会に芽生えた興味や、お互いの国の問題解決に貢献したいという気持ちがモチベーションにつながるのだと思います。

テレビやインターネットでは毎日色々な国の情報があふれていますが、フィリピンについてニュースで取り

上げられていても、それに着目しなければ、「なんとなく知っている」ニュースの一部でしかありません。しかし、実際にその国の人と繋がることで、フィリピンという国について関心をもつようになります。イベントを通じ、互いの国に興味をもった学生たちが、「他国」ではなく、「友人の国」として認識を変えることも、世界を変えるための一歩なのだと思います。アイキャンでは、このような人と人との繋がりを大切にして、この輪がさらに広がっていくよう、今後も活動を続けていきます。

ある日のスケジュール

- 9:00 訪問受け入れ準備
- 10:00 事業説明
ディスカッション
- 13:00 大須散策
- 15:00 参加者振り返り
- 16:00 解散・片付け
- 17:00 スタッフ振り返り
- 18:00 帰宅



フィリピン事業（マニラ・路上） 11 月 9・16・23 日/マニラ(フィリピン)

サバイタヨの活動で創作活動をしました



子どもたちが生きていくうえで必要な知識を学ぶためのサバイタヨの活動で、創造性を養うための創作活動を実施しました。毛糸を使ってクリスマスの飾りを作ったり、絵を描いたりしました。参加したキエシャちゃん (7 歳) は「サバイタヨの活動が再開してから、ずっと活動に参加しています。そのおかげで、絵を描くことが好きになりました。」と嬉しそうに話し、出来上がった作品を見せてくれました。

能力強化事業（NGO 相談員）

11 月 10 日/富山

国際交流フェスティバルへ参加



11 月 10 日に富山市で開催された国際交流フェスティバルに NGO 相談員として参加し、NGO の活動や就職について相談を受け付けました。日本人の来場者だけでなく、富山市に在住の外国人の方々にも日本の NGO の活動を知ってもらうことができました。アイキャンの長野での活動について聞かれた際には、「NGO は海外で活動しているイメージが強く、国内でも事業を行っていることは知らなかった。」との感想が出ました。

ジブチ事業

11 月 12・20・21 日/アリアデ・ホルホル(ジブチ)

2つの難民キャンプにおいて青少年への研修を実施



ジブチのアリアデ・ホルホル難民キャンプにおいて、「子どもの広場」の活動を支える青少年ボランティアへ研修を実施しました。アイキャンスタッフが「子どもの広場」の活動の記録方法について講義した後、ボランティアによって活発な議論が交わされました。参加者からは「記録に必要なデータの種類がよく理解できた。」や「学校で習っても分からなかったことが今回の研修で分かるようになった。」等の声が聞かれました。

ボランティア・寄付活動推進事業

11 月 9・16・30 日/大阪

大阪・梅田にて街頭募金活動を 3 回行いました



台風 19 号による被災地救援のための街頭募金活動を 1 回、フィリピンの路上の子どもたちを応援する街頭募金活動を 2 回実施しました。フィリピンマニラ事務所の元インターンも参加し、「インターンシップで関わった路上の子どもたちの姿を鮮明に思い出しながら、街中の人たちの心に響くよう、より具体的に伝えることを意識して取り組みました。」と話してくれました。